

## 賀川 浩 Hiroshi KAGAWA

<主な掲額理由> サッカージャーナリストとして60年にわたり現場取材を続け、今なお現役で健筆をふるう

### ●1924年12月29日、兵庫県生まれ

神戸市立雲中小学校5年でサッカーを始め、神戸一中(現県立神戸高校)、神戸経済大学(現神戸大学)、大阪クラブなどでプレー。東西学生選抜対抗出場、全日本選手権準優勝2回の経験を持つ。

1951年スウェーデン・ヘルシングボーリュの来日を地方紙に寄稿したのがきっかけとなり、スポーツ記者の道を歩む。1952年産経新聞社に入社し、サッカーのみならず様々なスポーツの取材を続け、1974～84年サンケイスポーツ(大阪)編集局長、定年退職後はフリーランスとして、足かけ60年にわたりサッカージャーナリストとして活躍。

その間、FIFAワールドカップは1974年西ドイツ大会以来2006年ドイツ大会まで9大会連続で現地取材をこなし、ヨーロッパ選手権も5回取材した。国内で行われた国際大会はもとより、JSL、Jリーグとも開幕から足を運び、『サンケイスポーツ』紙だけでなく、各種サッカー雑誌などで健筆を振るい、技術論から人物史まで様々な角度から世界と日本のサッカーを書き続けてきた。なかでも『サッカー・マガジン』誌で74年から連載してきた「ワールドカップの旅」は、紀行形式という斬新な方法で世界各地のサッカーを紹介するとともに、サッカーとサッカーを愛好する人々に対する筆者の深い愛情が見事に表現され、日本のファンに世界のサッカーの知識を提供するとともに、夢をかきたて続けた。

執筆活動以外でも、1964年東京オリンピック5、6位決定戦(大阪トーナメント)の開催、社団法人神戸フットボールクラブの創設にかかわり、関西サッカー協会役員としても長く活動するなど、サッカーの興隆のために尽力した。





1941年夏 兵庫県大会で優勝  
(岩谷俊夫氏と)



1979年FIFAワールドユースでの取材



1980年来日のヨハン・クライフにインタビュー